

Dockerコンテナで使用するためのセキュアクライアントVPNの設定

内容

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[ライセンス情報](#)

[セットアップ](#)

[Dockerファイル](#)

はじめに

このドキュメントでは、Dockerコンテナ内でCisco Secure Client VPNを使用する方法について説明します。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Cisco Secure Client/パッケージは、ローカルデスクトップにダウンロードして、Dockerコンテナ内で使用できます。(クライアントパッケージをダウンロードするには、『[Cisco Secure Client](#)』のWebページを参照してください)。
- Cisco Secure Clientは、Dockerバージョン5.1.10以降と互換性があります。
- Dockerの導入では、Cisco Secure Client DEBまたはRPM CLIパッケージを使用する必要があります (パッケージはCLIのみの使用に最適化されており、Dockerの場合がこれに該当します)。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、Cisco Secure Client/バージョン5.1.10 RPMまたはDEB CLIパッケージに基づいています。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

ライセンス情報

ライセンスの詳細については、『[Cisco Secure Client発注ガイド](#)』を参照してください。

セットアップ

Dockerファイル

1. Cisco Secure Clientが依存するパッケージのインストール。

- RHEL(Red Hat Enterprise Linux)の場合：

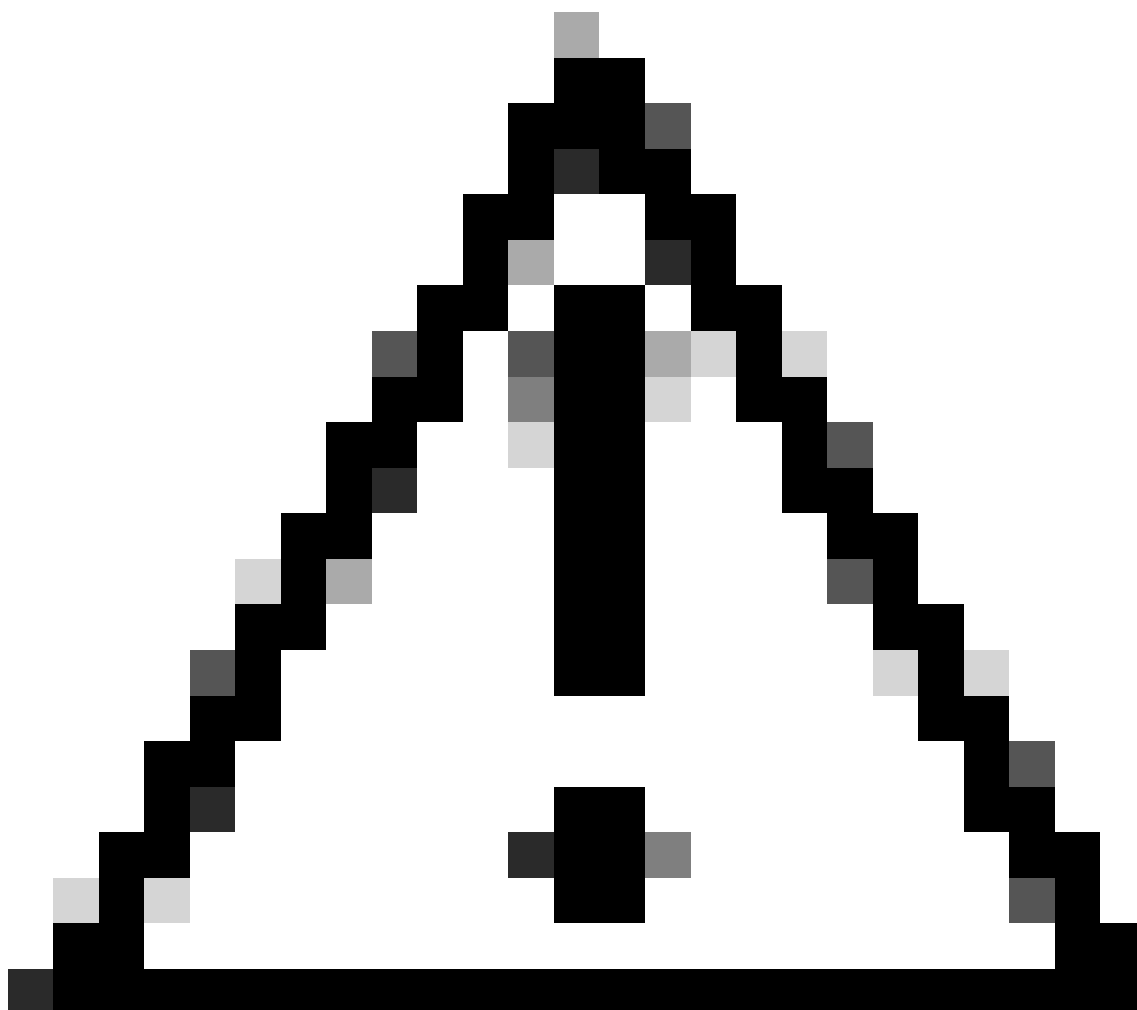
```
RUN yum install -y net-tools iptables
```

- Ubuntuの場合：

```
RUN apt-get install -y net-tools iptables
```

2. ロギングの有効化.

```
ENV CSC_LOGGING_OUTPUT=STDOUT
```



注意：有効にすると、ログは進行中の他のアクティビティとともにCLIにインラインで出力されます。

3. ホストからDEB/RPMパッケージをコピーします。

- RHELの場合：

```
COPY cisco-secure-client-vpn-cli-<VERSION>-1.x86_64.rpm /tmp/cisco-secure-client-cli.rpm
```

- Ubuntuの場合：

```
COPY cisco-secure-client-vpn-cli_<VERSION>_amd64.deb /tmp/cisco-secure-client-cli.deb
```

4. VPNエージェントを起動するには、エージェントを実行したまま再起動します。必要に応じて、entry.shという名前のファイルがDockerコンテナのエントリポイントとして追加されます。このスクリプトは、後で使用するためにコンテナにコピーする必要があります。

```
#!/bin/bash

wait_forever() {
    while true; do
        sleep infinity &
        wait $!
    done
}

start_service() {
    if [ -f /opt/cisco/secureclient/bin/vpnagentd ]; then
        echo "Starting VPN agent..."
        while true; do
            /opt/cisco/secureclient/bin/vpnagentd -execv_instance &
            SERVICE_PID=$!
            wait $SERVICE_PID
            echo "VPN agent exited. Restarting..."
            sleep 1
        done
    fi
}

start_service
wait_forever
```

- RHELとUbuntuの両方 :

```
COPY entry.sh /entry.sh
RUN chmod +x /entry.sh
```

5. パッケージをインストールします。

- RHELの場合 :

```
RUN cd /tmp && \
    dnf install -y ./cisco-secure-client-cli.rpm && \
    rm -rf /tmp/cisco-secure-client-cli.rpm
```

- Ubuntuの場合 :

```
RUN cd /tmp && \
    apt-get install -y ./cisco-secure-client-cli.deb && \
    rm -rf /tmp/cisco-secure-client-cli.deb
```

6. entry.shをエントリポイントとしてDockerコンテナに追加します。

```
ENTRYPOINT ["/entry.sh"]
```

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。